



食農教育事業



食の大切さ、食を支える農業の大切さを育てることから知ってもらおうと、10月9日に能代市立湊城西小学校5年生56人を対象に、サツマイモ・ねぎ・かぼちゃの収穫体験を行いました。



年4回行われる体験学習も、この日で最終日を迎え、春に植え付けたサツマイモやねぎなどが大きく生長した姿を見ると、児童たちは歓声を上げていました。当日は、時おり小雨の降る天気でしたが、JA女性部員や農業技術センターの職員の方から収穫の方法を教えてもらい、丁寧に収穫作業を行いました。収穫したサツマイモは、その場で焼き芋にして児童たちに振舞われました。



→大きく生長したサツマイモにっこり



→ねぎもたくさん収穫しました



児童たちからは、「春からの体験作業をして、農業の大変さと収穫のうれしさ両方を知ることができました。焼き芋もとてもおいしかったです。」といった感想が聞かれました。

この農業体験でまとめたものは、能代市で行われた産業フェアと鹿角市で開催された第138回秋田県種苗交換会の学校農園展へ出され、収穫した作物も一緒に出品されました。

自慢の料理を提供

藤里町の文化と収穫を楽しむ、2015町民祭「白神のふるさとまつり」が10月24日と25日の2日間にわたって開催され、町内外から多くの人々が来場し大盛況となりました。



JAあきた白神女性部藤里支部では、新米料理無料配布を行い「ひじき入り混ぜご飯」と「あっさり漬け」を来場者に提供しました。美味しい匂いに誘われて、女性部コーナーの前には行列ができ、用意した200食分の料理はあっという間になくなりました。

→女性部コーナー前には行列が出来ました



料理を食べた人からは「あたたかい料理、そして新米だったのでとてもおいしかったです。あっさり漬けも手軽に作れるので、家でも作ってみたいと思います」と喜んでいました。また、藤里営農センターでは、白神和牛や砂糖などを特価で販売し、女性部と共に町民祭を盛り上げました。

→提供された2品品の料理

